



2023年8月10日

<各位>

NANO MRNA 株式会社
代表取締役社長 秋永 士朗
(4571 東証グロース市場)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-3241-0553

「TUG1 ASO」に関するライセンス契約締結に関するお知らせ

TUG1 ASO につきましては、名古屋大学 近藤豊教授らと協力して今年度中の医師主導治験の開始に向けて研究開発を進めております。今般、本課題の基盤となる 2 件の特許について、公立大学法人名古屋市立大学および国立大学法人東京大学と国内外における再実施許諾権（サブライセンス権）付独占的ライセンス契約を締結しましたのでお知らせします。

- ① 出願人： 公立大学法人名古屋市立大学
発明者： 近藤 豊、勝島 啓佑
発明の名称： 抗腫瘍剤
特許番号： 特許第 6664815 号
内容： TUG1 遺伝子を高発現する腫瘍に対する抗腫瘍剤
- ② 出願人： 公立大学法人名古屋市立大学、国立大学法人東京大学
発明者： 近藤 豊、勝島 啓佑、片岡 一則、宮田 完二郎、キム ヒョンジン
発明の名称： 抗腫瘍性ドラッグデリバリー製剤
特許番号： 特許第 6198201 号
内容： TUG1 遺伝子を高発現する腫瘍に対する抗腫瘍性ドラッグデリバリー製剤

TUG1 ASO は、膠芽腫などの治療成績の悪い難治がんに対する革新的な治療薬になりうるものとして、日本医療研究開発機構（AMED）の革新的がん医療実用化研究事業に近藤豊教授が中心研究者となり 2 期連続で採択されています。

当社は mRNA 創薬の IP ジェネレータにビジネスモデルを変更しましたが、TUG1 ASO に関しては、研究早期から共同研究を通じて強く導出の可能性を見出しており、引き続き近藤教授らとの緊密な連携の下に補助金等を最大活用して研究開発を推進します。早期の製薬企業への導出に向けた活動は、資本業務提携先である IP ガイアのチャンネルを通じて、今秋より開始します。

尚、本契約により契約一時金や今後の進捗に応じた支払いが発生いたしますが、2023 年 5 月 12 日に公表した 2024 年 3 月期の業績予想に既に織り込んでおり、2024 年 3 月期の業績予想に変更はございません。今後、TUG1 ASO が当社パイプラインとして製薬企業との導出契約締結に至った場合には、業績への影響を含めて速やかに適時開示いたします。

以上